

平成 28 年度 放射線管理講習会 開催記

神奈川県放射線管理士部会(小田原市立病院) 佐藤英俊

平成 28 年 10 月 23 日(日)、川崎市立多摩病院にて、主催：神奈川県放射線管理士部会、共催：神奈川県核医学研究会、神奈川県放射線治療技術研究会、後援：(公社)神奈川県放射線技師会、(公社)日本放射線技術学会・関東支部、日本放射線公衆安全学会、日本放射線治療専門放射線技師認定機構、日本核医学専門技師認定機構、(特)日本核医学技術学会による、『平成 28 年度 放射線管理講習会』を開催しました。

講演内容は、午前中「放射線領域における MRI 検査の安全管理」(事故事例から学ぶ)について、日本医科大学付属病院の土橋俊男先生から貴重な写真とデータなどをお見せいただき、磁性体の扱いについて勉強になりました。続いて「個人被ばく実効線量評価に掛かる一考察」(確認・報告・健康診断省略事例の検討)について、狛江はく整形外科の佐伯寿夫先生から、医療法立ち入り検査時の健康診断省略時の扱いについて明日から使える内容を講義頂きました。

ランチョンセミナーでは「装置メーカーとして、医療被ばく低減への取り組みと医療安全」について島津製作所 グローバルマーケティング部 田中修二さんに医療被ばく低減に向けたメーカーの取り組みや新しい技術についてお話して頂きました。

午後からは、「医療現場で役立つコミュニケーションスキル」をテーマに、拓殖大学 商学部 長尾素子教授に、コーチングスキル、1) 共感(リフレイン) 2) 質問(オープンクエスチョン) 3) アサーション(We メッセージ・I メッセージ)の考え方を、解りやすくお話しいただき明日からの患者さんとの会話の中で役立てようと思いました。続いて「被ばく線量管理における医療情報分野からのアプローチ」について、北里大学病院の神宮司公二先生から医療分野の DICOM 情報のこれからの発展性についてご講義いただきました。続いて「しゃへい計算によるエックス線診療室の放射線管理」と題して、医建エンジニアリング株式会社 細沼宏安さんに実際の診療室のしゃへい計算事例のお話をいただきました。続いて「放射線発生装置の定期検査・定期確認について」、帝京大学医学部附属溝口病院の鈴木伊三郎先生から、帝京大学に於いての定期検査・定期確認の指摘事項など実際の管理様式を見せて頂きながらお話し頂き、大変参考になりました。鈴木先生には、急な講師変更に対応して頂きありがとうございました。

長時間の講習会でしたが、大勢の方に最後まで聴講をして頂きありがとうございました。勉強した内容を明日から少しでもご自身の施設で役立てて頂けたらと思います。

今後も、当部会開催の各種講演会にご参加ください。ありがとうございました。

